



日本一人口の多い村 よみたんそん
人口41,446 (平成30年12月末)

76号 2018年12月
定例会

議会だより



議会では議員のみならず、
さんが読谷村の人々の
声を聴いて話し合っ
て世界に伝える入口だ
と思います。

題字：前田 采音
(古堅南小学校6年)

合併号

第11回 村民との意見交換会及び議会報告会



主な内容

- ◎一般質問.....p 6
- ◎第11回村民との意見交換会...p17

2019年(平成31年3月発行)
撮影：城間真弓 委員

第四七九回臨時議会議決結果

平成三〇年十一月二十七日

全会一致で可決

○ 読谷村一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○ 読谷村特別職の職員の給与等並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○ 読谷村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

○ 平成三〇年度読谷村一般会計補正予算（第六号）

○ 平成三〇年度読谷村診療所特別会計補正予算（第二号）

○ 平成三〇年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第四号）

○ 平成三〇年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第三号）

○ 読谷村下水道事業特別会計補正予算（第三号）

○ 平成三〇年度読谷村水道事業会計補正予算（第一号）

人事員勧告に伴う条例改正及び補正でした。

さらに決議及び意見書についても全会一致で可決されました。

第四八〇回定例会

平成三〇年十二月十一日～二十日

議案の全会一致

○ 平成三〇年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第五号）

○ 平成三〇年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第四号）

○ 読谷村下水道事業特別会計補正予算（第四号）

○ 読谷村税条例の一部を改正する条例

○ 読谷村個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

○ 読谷村保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例

○ 読谷村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○ 読谷村診療所条例の一部を改正する条例

○ 読谷村診療所使用料及び手数料条例一部を改正する条例

○ 指定管理者の指定（読谷村琉球文化体験施設）について

○ 指定管理者の指定（読谷村生き生き健康センター）について

○ 指定管理者の指定（読谷村健康増進センター）について

○ 物品供給（平成三〇年度小学校ICTパソコン教室機能強化事業）

契約について

○ 物品供給（読谷第二給食調理場物品購入（その二））契約について

◎平成三〇年度一般会計補正予算(第七号)県民投票費を含む

反対

比嘉 幸雄



県民の意思を適格に反映させる事が目的であれば、二択では、県民の複雑な思いを表現することはできない。また結果が投票資格者の4分の1に達したときに内閣総理大臣やアメリカ合衆国大統領に通知するだけの事に県民の血税を使うのか県内の子ども達の貧困や明るい未来の子供達に予算を回してもらいたい。

反対

長濱 宗則



玉城知事は当選時に民意は示されたと言われている。また民意を知らず必要があるのか名護市の住民投票は四択で執行されており、二択にすると県民を再度分断することになりはしないか危惧することから反対する。

反対

山内 政徳



先の知事選が終り三ヶ月、辺野古の賛成反対問うて、結果が出たばかりであり、わずか二、三ヶ月の間で県民投票を実施すればまた次も、また次もと無駄な予算を使うことになるのではないか危惧しており慎重にやるべきである事から反対する。

賛成

上地 榮



この県民投票は県民投票条例に基づき実施されるものであり、間接民主制の短所を補う健全な民主主義を実現するための投票であり、これまで知事及び国政選挙で何度も辺野古新基地反対の民意が示されている。この県民投票の実施によって明確な民意示し、沖縄の自己決定権を内外に知らしめる極めて大きな意義がある。

賛成

國吉 雅和



憲法第95条の一つに地方公共団体のみに適用される特別法はその地方公共団体の住民投票によりその過半数の同意を得なければならぬとあり、また73年前の大戦で本島上陸の地である読谷村の思いを県民投票で実現できる。

賛成

城間 勇



この県民投票は法律に基づき執行予定であります。市長や議員は県民投票の趣旨に賛否はあっても、地域住民が投票に参加する権利を保障する役割があり県民投票の機会が失われることがあってはならない。

賛否があった議案結果

事案	國吉雅和	城間真弓	伊佐眞武	松田正彦	上地榮	神谷嘉栄	比嘉幸雄	長濱宗則	松田昌邦	山城正輝	城間勇	津波古菊江	當間良史	上地利枝子	山内政徳	大城行治	仲眞朝雄	與那覇徳雄	
平成30年度読谷村一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

意見書・抗議決議

米海軍FA 18 戦闘攻撃機の墜落事故に対する意見書・抗議決議

第479回

全会一致

米軍嘉手納基地所属の空軍兵による銃所持脱走事件に対する意見書・抗議決議

第480回

全会一致

米軍普天間飛行場の5年以内運用停止の遵守を求める意見書

第480回

全会一致



決議後全議員で沖縄防衛局へ抗議

各委員会の活動報告

各常任委員会の閉会中継続審査

- 総務常任委員会
 - ・防災対策の調査研究
- 文教厚生常任委員会
 - ・わんぱく広場の現状と課題について
 - ・請願第1号 トリイ通信施設における遺跡を原位置保存することに関する請願
- 建設経済常任委員会
 - ・生活道路整備事業の実状調査
 - ・陳情第1号 読谷村大湾地区の新しいまちづくりについての要望書

特別委員会の動き

議会広報調査特別委員会

9月定例議会閉会后 8回開催

平成30年11月8日には町村議会広報委員会研修会に参加

基地関係調査特別委員会

9月定例議会閉会后 3回開催

議会活性特別委員会

9月定例議会閉会后 5回開催

議員報酬及び議員定数調査特別委員会

12月定例議会閉会后 招集

第11回村民との意見交換会及び議会報告会（P17より詳細を載せています。）

- ◎平成30年11月 9日 総務常任委員会 参加者10名
- 平成30年11月12日 文教厚生常任委員会 参加者23名
- 平成30年12月 4日 建設経済常任委員会 参加者11名

亥年に聞きました！よみたん街角インタビュー～

① 今年の目標は？ ② 議員さん 議会に求めること



13 祝

石川 智晴 (喜名小学校5年生)

- ①テストでいっぱい100点とろぞ～!!
- ②基地の場所をなくしてユニバーサルスタジオ(USJ)つくってほしい。



73歳・古希祝

松田 竹光 (楚辺)

- ①健康に気をつけて生涯現役!!
- ②自分の信念をつらぬいて物事ははっきり言える議会であってほしい。



Q 村政を問う!! 一般質問



うえち さかえ 地上 榮

闘牛を地域の文化として、うるま市を参考に無形文化財の指定予定はあるか

答 みだしの通りである。

激しく損壊したトリイ基地の護岸工事は

答 護岸工事は楚辺側と渡具知側の2カ所から新たに楚辺浄化センター側も含めることになった。楚辺側の事業費は約4億4千万円で現在は工事にかかる契約の手続き中である。工事は平成32年度の完了を目指している。また楚辺浄化センター側は平成31年度において調査費800万円を要求している。

台風24号、25号の被害額は約4千万円!

問 台風24号、25号の被害額の内訳は

答 施設の被害額が約2千600万円、農作物で千4百万円である。

問 被害等の復興対策は

答 施設等の復興は村建設業者会と災害協定を結んでおり、道路や公園の倒木等の撤去をした。野作物では主にJA沖縄や花卉農協により営農指導をした。

闘牛は現在において無形文化財の指定は難しい

問 戦前から農民の娯楽として親しまれた闘牛を地域の文化として、親しまれた



激しく損壊したトリイ基地海岸

平成29年度における青少年センター教育相談501件、学校教育相談3千473件の内訳及び不登校の対応策

答 青少年センターの主な相談は主に不登校が延べ320件である。対応策として学校と情報を共有して対応している。学校教育相談は主に学校しづりが延べ819件、授業参観延べ817件である。

問 市民相談事業の種類と実績、弁護士による法律相談は短いのでないか

答 当事業は法律相談、人権相談、行政相談がある。実績は平成29年度において弁護士相談81件、司法書士相談88件、人権相談1件、行政相談16件である。弁護士相談は相談内容を整理し、対処方法等についてアドバイスを行うものであり、今のままで良い。

問 旧飛行場用地の63名の旧地主の所有権回復の進め方について

答 これまで整備事業を行い、換地まで整えて生産法人に賃借権の認定の環境が整った。今後は実施計画で書かれたシナリオをしっかりとやっていく。

問 各団体補助金額とその総額は

答 平成30年実績で、喜名組合1万9千円、座喜味組合4万円、波平組合7万6千円、渡慶次農業同好会1万9千円、儀間組合1万4千円、宇座組合2万4千円、瀨名波組合2万9千円、長浜組合2万7千円、楚辺農水組合4万6千円、大木組合1万円、総額34万9千円となっております。

問 各補助団体の金額が異なる理由・根拠は

答 各団体の所属する自治体の、5年毎に行われる農業センサスの農家戸数、前年のさとうきび生産量、前年12月末の家畜飼養頭羽数を根拠に金額を決定しております。

問 館内の業務内容は、図書館、村歴史編集室、公文書館とあるが

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の



まつだ まさひこ 松田 正彦

問 農業実行組合への補助金増額について

答 本年度の予算増額を求め、農業センサス基準が減少している。現状維持の予算を確保する。

問 村総合センター(仮称)について

答 情報センター計画があるが、基本計画、基本設計、実施計画、工事着手予定は

答 (仮称)読谷村総合情報センターにつきましては、防衛補助である「町づくり支援事業」を活用して整備を行う計画の一環として取り組みを進めてまいります。

問 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

答 仮称読谷村総合情報センターには、村立図書館の

提供機能、村史編集室の記録機能、公文書の保管・公開機能の3施設の機能が一体となった施設を考えております。

問 複合施設(情報・医療・保健センター)を一体化できないか

答 平成24年3月に策定された(仮称)読谷村総合情報センター基本計画を策定しており、当初より診療所・保健センターとの一体化は検討されておりません。

今年の台風24号による停電について

問 村全体の停電戸数は

答 台風24号による村全体の停電戸数は7千522戸のことでした。

問 最大で何日停電したか

答 各家庭への引込されている引込線の断線に伴う停電については、数が膨大なため把握できてないとのことでした。

問 3時間停電と一週間停電の差は何か

答 一旦停電した配電線路



区間で被害箇所がないと判断できた健全な区間を遠隔操作で開閉器を操作し短時間に停電解消した。また長時間の停電については多数の被害箇所があるため、現場巡視や停電原因の特定や復旧作業に時間を要したために長時間停電になった。

問 災害時避難所公民館・村立保育園への発電機を設置できないか

答 防災拠点における発電機等の防災資機材の整備の在り方については、現在修正を行っている読谷村地域防災計画に合わせて検討していきたいと考えております。



おしろひきはる 大城 行治

読谷まつりについて

問 「読谷まつり」における来場者数、テナントにおける売り上げは

答 今年は8万2千人。売上は3億137万円となっている。これは平和コンサートを含めて3日間である。テナント出店数は減少気味である。

臨時の「鳳バス」は約400人程度利用者がいる。

問 多目的広場の「ジュニアフェスティバルin読谷」の充実を測るためには

答 予算は、30万円、第15回目を迎える。出演団体は15である。延べ384人のジュニアが関わっている。



提案 若者を祭りに取り込む為には、予算の増額も含めて実行員会で議論をしてほしいのでは

問 45回目に向けての課題は

答 今年度台風の影響で破損した屋外スタンド屋根の復旧及び進貢船の修理がある。

提案 「読谷まつり」は伝統

ある祭りに育ってきた。45回目に向けて、あるいは50回目の節目に向けて、今から村民を始め様々の声を拾い上げ、残すべきものは残し、

変えるべきものは変え、もつとステップアップした祭りにする為の議論を、実行委員会で行ってほしい。

読谷山花織の後継者育成に期待

問 組合の現状と今後の課題は

答 組合員は107名、従事者数は72名。花織の継承・発展には生産体制の強化、販売促進への取り組みが必要。そして後継者育成に関して継続して取り組み、販路開拓についても組合と連携して取り組む。

提案 読谷山花織の1人当たりの生産高は、約52万円である。伝統工芸に従事しながらも生活できるようにならねばならない。

歳入確保は

答 予算編成方針の作成を9月中旬ごろ取り組み、11月上旬の予算編成説明会をもつて各課への周知を行う。2月中旬までに庁議決定を経て3月定例会に議案提出となる。村税の期限内納付の周知、ネーミングライツ導入への取り組み、ふるさとづくり寄附金の増収を考えている。

(仮称)村情報センター建設を早急に

問 現在の状況は

答 防衛補助である「まちづくり支援事業」を活用して整備を行う。概要要求に向け、沖縄防衛局と協議を行っている。しかし、31年度は継続事業が多く、後年度以降になる。早めの予算獲得を目指す。

平成31年度予算編成の動向

問 予算編成のプロセスと

Q 村政を問う!!! 一般質問



おき 幸雄 市長

台風24号・25号による被害対策、復旧は

問 自治会管理の防犯灯の修繕費を全額自治会に負わすのは負担が大きいのでは

答 今後検討する。

問 電力申請に伴う修繕費は5〜6万円かかりLED照明に変更すれば電気料金は安くなり、村の負担は軽くなる

答 調査し、検討する。

問 自然災害等の各情報を携帯電話機能を使い役場に通報する。そんなシステム構築は考えられないか

答 そういうシステム構築の議論はない。

問 防犯灯の設備強化対策でもあるLED化の進捗は

答 既存の防犯灯のLED化事業として、本年度調査、来年度から工事をしたい。

村内村道の現状

問 中央残波線と大木・喜名線の交差点改良工事は事業費の確保ができず遅れている。交差点の路肩部分に大型車が駐車すると安全確保ができず危険である。その対策は

答 本来は停車帯なので hands 手納署と協議し検討します。

来年度オープン！パークゴルフ場を問う

問 クラブハウス建設の進捗は

答 3月20日で完成し、備品等も年度内にはそろそろ。

問 管理運営方法は

答 当面、直営方式。村民への周知期間と運営についてのスタッフ側の準備期間として1カ月位の期間を設け正式なオープンはゴールデンウィーク前あたりで考えている。

問 名称は

答 ユンタンザパークゴルフ場

問 1階チャレンジブース（飲食）入居店舗は厳しい経営状況と聞く。対策は

答 全体的に経営状況は思わしくない。掲示板・看板設置と環境整備を進める。

問 農業を主体とした六次産業化、情報の共有と発信による地域振興、農・商工の連携という設置目的がど

う反映されているか

答 本年度から地域活性化、六次産業化を進めていく。

問 ふれあいホールを住民に開放し、集客目的のイベント開催してはどうか

答 呼び込む情報やサインが少ないそれを対策する。



新副村長に問う



まさかず 雅和 副村長

4月には新園舎で5歳児保育の導入と低年齢児も拡充し、定員数108名を予定している。また、古堅イオンタウンで定員数19名の小規模保育所を開設する。最多4園を予定していた小規模保育所は村立保育所の民営化による拡充に伴い新設は一園のみ。

福祉部長に問う

問 「放課後の子どもたちの過ごし方」の実態調査報告書の見解を求める。

答 アンケートへの回収率が71%と高いことから、児童クラブ設置についての期待が大きいと受けとめる。今後、各小学校区への設置に向けて努力していく必要があると考える。

問 公民館での放課後児童クラブ（学童クラブ）実施について

答 公民館での学童クラブ実施は、課題解決による条件整備によって判断される。

う反映されているか

答 本年度から地域活性化、六次産業化を進めていく。

ふれあいホールを住民に開放し、集客目的のイベント開催してはどうか

答 呼び込む情報やサインが少ないそれを対策する。

問 新副村長に問う

答 読谷補助飛行場の跡地利用は、旧地主側の要望に対応した施設が整備され、換地も終了し、旧地主側へ権利設定（賃貸借契約）の条件が整ったので、旧地主側には農業生産活動に取り組みことを期待している。

問 高齢社会に向けた村の取り組みについて

答 「高齢者がいつでも健康やかで、安心して暮らせるふれあい豊かなむら」の基本理念に福祉課、健康推進課、社会福祉協議会が横断的に取り組む。

問 保育環境と放課後児童クラブについて

答 放課後児童クラブは公の責任が求められると認識している。保育環境の改善は、平成31年4月より村立北保育所を民営化し、平成32年

健康増進センターの指定管理移行を問う

問 指定管理候補の選定と管理期間は

答 健康増進センターで育成された職員が社員（8名）となり、「一般社団法人ラフウェル」が設立され、利用者のサービス向上や、経営の安定と効率化が見える。

4月から5年間の指定管理期間。指定管理委託料の年額は2千600万円（一般財源）。

提起 健康増進センター利用料の消費税額235万円は委託料より除くことを求める。

運営事業について（平成29年度決算より）

答 火葬場事業の収入は1,870万円、支出は2千300万円。健康増進センター事業の収入は2千505万円、支出は5千300万円。比謝礼複合施設の収入は1,832万円、返済額はリース料として4千158万円。コミュ

ニテイバス事業収入は267万円、支出は2千490万円。運営事業で収支改善が可能な事業は健康増進センターである。



ウチナンチュの答えを出しましょう！

提起 運営事業で収支改善が可能な事業は健康増進センターである。

問 高志保公民館洋式トイレへの改修進捗は

答 平成31年度9月完成をめざす。

古堅南小学校校舎改築基本計画策定中

2月24日実施の県民投票

問 辺野古米軍基地建設のための埋立の賛否を問う県民投票の見解と取り組みは

答 県民投票は、住民により直接請求制度により請求された条例であり、県民一人一人が賛否を示すことは意義がある。石嶺村長「辺野古県民投票の旗を振って投票率アップに向けて取り組む」

問 現地保存というが遺跡は埋め戻すのか

答 元の地形に戻して元の場所に戻すという方向に進めている。

問 議会としても現場視察をすべきと考えるがどうか

答 米軍、防衛局との手続きが進めば可能と思う。



山城 正輝

旧読谷飛行場、瀬名波・楚辺・トリイ通信所返還地の環境浄化↓鉛化合物検出、今後の返還地は米軍で対策を！

トリイ基地内遺跡発掘↓始まったばかりで見通しつかず、現場視察は可能！

問 18遺跡の意義はどうか

答 先人達の生活痕跡であり、歴史をより具体的に把握することができ。

問 (米軍基地) 移設に影響ないとはいえるか

答 私が答えられるものではない。

問 現地保存というが遺跡は埋め戻すのか

答 元の地形に戻して元の場所に戻すという方向に進めている。

問 議会としても現場視察をすべきと考えるがどうか

答 米軍、防衛局との手続きが進めば可能と思う。

楚辺・トリイ通信所返還地の環境浄化↓鉛化合物検出、今後の返還地は米軍で対策を！



遅れる移設！知的サービス拠点図書館

問 井泉の意義、価値をどう考えるか

答 御願所、祭事、貴重動植物の生息地として文化的、環境的価値がある。

問 水利用の側面をどう考えるか

答 災害時に転用できるかについては検討事項。環境教育の中では、学校現場に知らせていく必要がある。

農道内安全対策のため停止ラインを増設すべき↓優先順位をつけよう！

問 渡慶次波平線を歩いて調査した。旧飛行場内にも危険地域あり、どう考えるか

答 優先度は、村道渡慶次波平線の方が高い。

問 知的サービスの拠点、村立図書館移設建設↓積極的にかかわり、引き続き努力！

問 大幅に遅れているがどうしてか

答 24年度計画、4年後完成スケジュールだった。防衛局から報告があり、32年度以降に要求を出す。具体的時期は示せない。

問 座喜味井泉（共同井戸）保全、回復↓水枯れ対策難しい。水質向上は工夫必要！

問 障害者雇用未達成11市町村に入っている。その対策↓30年度村長部局達成。教育委員会は、調査しながら努力！

超未熟児等医療的ケア児支援↓29年度村内4名把握、県コディネーターと協議の場を設置！

Q 村政を問う!!! 一般質問



ながはま 宗則 市長

会計年度任用職員の導入について

問 会計年度任用職員の導入の経緯に説明を求めます

答 地方の厳しい財政状況が続く中、多洋化・複雑化する行政需要に対応するために、臨時非常職員が増加している。地方公務委員の臨時・非常勤職員については、特別職の任用及び臨時的任用の適正化を確保し、並びに一般職非常勤である会計年度任用職員に対する給付について規定を整備するものである。

問 平成30年度の読谷村の嘱託職、臨時職員の人数を伺う

答 嘱託職員237人、臨時職員123人、合計360人。

問 現状の嘱託、臨時職員を会計年度任用職員に移行した場合の予算額は

答 職員と同じような手当てが支給されるので現当初

予算額は3億200万の増が見込まれるので、職員の業務体制、各種事業の見直し等の課題がある。

問 平成32年度4月に制度が実施されるが庁内、取組みと全職員に対する説明会は持たれたか

答 現段階において会計年度任用職員の条制定定に向けて取り組んでいる、部課長、係長を対象に説明会を行い、その後、職員のヒアリングも行ってきている。また、職員団体とも相談、意見交換は終わっている。基本的には現在の任用をおおむねベースとして進んでいきたいと思っています。

読谷村のゴミ減量化について

問 減量化に対する具体的な取り組みを伺う

答 ゴミ袋や粗大ゴミ処理券等の有料化、ゴミ処理容器の補助金や草木資源化施設の稼働により、再利用・再資源化、庁舎ないの個人情報を含む文書のリサイクル処理業者へ搬入し古紙として再利用、各種事業の啓蒙品としてマイバッグの配布を行っている。

読谷村地球温暖化対策実行計画から

問 計画の目的、方針、計画を伺う

答 読谷村の組織及び施設における全ての事務。事業から発生する温室効果ガスの排出を抑制するため、率先して地球温暖化対策の推進を図ることで、光熱費の削減と循環型社会の構築・推進を図ること、その取り組みを村民に知らせ、地球温暖化対策を促すことである。平成29年度から平成33年までが計画期間である。

問 二酸化炭素排出削減目標は

答 削減目標を5年間で6%を設定している各課に推進担当としてエコリーダーを配置し実施状況の調査、チェックを行っている。

栄橋復元について

問 読谷村ロードマップ計画の位置づけは

答 「都市計画道路虎地原線」として昭和56年に計画決定されおり、第3次読谷村道路プログラムに「おいて「牧原地区から県道嘉手納線へ

のアクセス道路」補助幹線として整備時期は長期に位置づけている。

問 虎地原線で嘉手納町と協議を持ったことがありま

答 嘉手納町との協議実績はありません。

問 嘉手納高校へ読谷村在の生徒のアクセスが一段と向上すると考えるが

答 当該路線の整備により、嘉手納高校へのアクセスの向上や村道横原の渋滞解消の効果は見込めると思われるが整備時期については、事業スタミナを考慮した場合は事業化には時間を要する。



復元が望まれる「栄橋」

トリイ通信施設内を通る構想路線について

問 キャンプキンザー等からの倉庫群の移設に伴い、文化財発掘調査が実施されたが現地保存すべき遺跡はなかったか。②構想路線のルートは移設工事前に決めておくべきでは

答 発掘調査は現在も進行中であるため、現地保存すべき遺跡であると判断できず状況にはない。②概略ルートの選定期間は返還のめどを注視し、検討する必要があると考えている。



いさ 眞武 伊佐

導権を持ってやるべきだと思っている。構想路線と言えども主張をしていくべきだと思っている。沖繩読谷線についてもずっと要望はしているが国・県の回答は、現在返還予定がない所は計画に乗せないと言うことで多分、楚辺地域も結論はそうだと思うが色々な場面でそういった要望はやつていくべきだと思う。

牧原公民館への東屋の必要性について

問 地域の子供達の遊び場、古堅小学校低学年の遠足の目的地である事、また地元の人々の夏場の草刈り作業時の休憩として、東屋の必要性について見解を伺う

答 牧原公園の東屋については特定防衛施設調整交付金(9条)で計画している。

問 東屋の他に、牧原公園は児童公園ですが遊具が二種類しかない。地元からは遊具を増やしてほしいとの

答 苦慮していく我々が主



村道伊良皆西線からセンター地区につながる現道路

要望もあるが検討できないか

答 これまでも地域の声があった事については可能な限り設置してきているので予算に応じてやっていく計画である。

村道伊良皆西線から村民センター地区につながる現道路について

問 伊良皆波平線の暫定道路の供用開始はいつ頃、
②大木地区の区画整理事業

に伴う現道路周辺の造成工事はいつ頃始まるのか、また造成工事がはじまる時現道路の機能はどうなるのか
答 伊良皆波平線の暫定道路の供用開始は平成31年4月頃の予定。②大木地区土地区画整理組合に確認したところ、平成31年10月頃着手の予定であり、造成工事着手と同時期に、現道路の通行止めを検討していると聞いている。そのため村においても迂回路について関係住民への周知を早い時期から図っていきたい。



津波古菊江

空き缶やペットボトルが混入している。役場生活環境下で生ゴミ処理機コンポストを半額(1,600円)で購入できるので生ゴミの堆肥化に活用してください。

増え続けるゴミ！排出抑制と循環型社会の構築をどうめざす

問 読谷村のゴミの収集実績と環境美化センターとの情報交換や課題についての連携は

要望 環境美化センターのゴミ処理施設が稼働して20年目で老朽化が進み機械の補修が増えていて補修費用も増加していく。村民のゴミ問題への啓蒙と広報の場(リサイクルプラザ)を設置して4Rの実践とゴミ減量を目指し循環型社会の構築に取り組んで頂きたい。

家庭系のゴミ搬入状況 (単位:Kg)

区分	平成29年度	平成28年度	前年度比	増減率%
もえるゴミ	7,998,490	7,972,270	26,220	0.33
もえないゴミ	361,710	372,360	△10,650	△2.86
粗大ゴミ	234,310	227,740	6,570	2.88
ガラス・ビン	291,160	288,320	2,840	0.99
ペットボトル	141,950	132,130	9,820	7.43
計	9,027,620	8,992,820	34,800	0.39

(環境美化センター報告書より)

1人当たり年間処理費 9,256円
1世帯当たり年間処理費 24,551円

答 環境美化センターとの情報交換では燃えるゴミの50%紙類(ダンボール)が多く、ビニールや生ゴミも多く、

事業系のゴミ搬入状況 (単位:Kg)

区分	平成29年度	平成28年度	前年度比	増減率%
もえるゴミ	3,054,510	2,986,650	67,860	2.27
もえないゴミ	84,870	84,710	160	0.19
粗大ゴミ	11,680	17,570	△5,890	▲33.52
ガラス・ビン	109,840	114,800	△4,960	△4.32
ペットボトル	26,430	21,990	4,440	20.19
計	3,289,330	3,225,720	61,610	1.91

(環境美化センター報告書より)

答 年一回の啓蒙活動、指導を含めて行っている。15件前後の世帯を訪問した。

住宅用火災警報器の設置で安全で安心な暮らしを

問 災害時要支援者宅の住宅用火災警報器の設置状況は(傷害を持つている人や高齢者世帯の方々の現状で福祉課と社会福祉協議会、ニライ消防が連携をして推進事業を行った2年前の実績について伺う)

答 座喜味城ができる300年、400年位前の集落跡の遺跡で県内でも同じ事例の遺跡は幾つかあるが、開発によって消滅しており、現存する貴重な遺跡であり、文化財の指定を怠りしてはならない。大変貴重な遺跡なので是非一緒に普及活動、管理もお願いしたい。



老朽化が進む環境美化センター

住宅用火災警報器調査状況

区分	全世帯数	設置世帯数	設置率%
嘉手納町	5,599	2,762	49.33
北谷町	12,238	8,026	65.58
読谷村	16,131	7,036	43.61
合計	33,968	17,824	52.84

(平成30年3月31日現在)

ニライ消防本部報告書より
(ニライ消防本部構成、町村管内)

文化財管理の在り方を伺う

問 大湾東地域の開発が進み都市化の中で“アガリヌウガン” 一角の文化財の一角のみが雑草が伸び放題である。文化財が発掘されて10年が経ち、国指定を目指して努力していると思うがアガリヌウガンの重要性は

Q 村政を問う!! 一般質問



市長 間 勇 (Shiro Maekawa)

読谷まつり会場の屋外スタンドの被害状況

読谷村民平和の日を定める条例の制定を

屋外スタンドにつきましては、屋根の部分が半分近く飛ばされ、残っていた屋根も危険性があるため、現在では屋根を全て取り除いております。

12月定例議会に屋根の修繕費を計上しており、次年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

読谷まつり闘牛大会や各種イベントも可能な多目的施設闘牛場建設を求める

読谷まつり闘牛大会や各種イベントも可能な多目的施設闘牛場建設を求める



議員 間 真弓 (Mami Maekawa)

台風24号時の村内の浄化槽管理を問う

今後、停電が長期化した場合や緊急時において、浄化槽の対応策とは



ネコも人も安心して暮らせる社会環境を

問 沖繩戦を歴史的教訓として受けとめ、いかなる理由があっても二度と悲惨な戦争を起こしてはならない。平和にまさるものはない。平和の尊さを広めるため、4月1日の米軍上陸の日を読谷村民平和の日を定める条例の制定を

答 毎年節目の日にそれぞれ事業を実施しており、特定の日を読谷村民平和の日として定めるのではなく、通年で平和について考える機会を創出していくことが重要である。

座喜味城跡の高倉の被害状況と修復について



泊城公園の崖崩れ防止対策が急がれる

例年多くの観覧者が訪れるため駐車場の確保、管理に苦慮しております。また課題としましては、観客と闘牛の動線が一体となっていることから、安全面の確保が挙げられます。

読谷村における野良猫対策TNRプロジェクトに協力姿勢を!

消費税10%に引き上げた場合の村民への影響は

問 高倉二棟のうち、北側の一棟が倒壊いたしました。今後は倒壊した高倉を解体して部材を倉庫内で保管いたします。また南側の一棟については屋根の葺き替えを行う予定であります。

高倉二棟のうち、北側の一棟が倒壊いたしました。今後は倒壊した高倉を解体して部材を倉庫内で保管いたします。また南側の一棟については屋根の葺き替えを行う予定であります。

高倉二棟のうち、北側の一棟が倒壊いたしました。今後は倒壊した高倉を解体して部材を倉庫内で保管いたします。また南側の一棟については屋根の葺き替えを行う予定であります。

関係課と調整会議を実施しており、村役場南側に整備予定されている村民広場ゾーンを含めた村民センター地区内に整備の整合性を図りながら多目的スペースの確保に向け引き続き調整を進めてまいります。

TNRの行政枠チケット確保に向けての進捗状況と村の方針とは。

増税に対して村政の姿勢を問う

問 泊城公園の崖崩れの状況

泊城公園の崖崩れの状況

泊城公園の崖崩れの状況

泊城公園の崖崩れの状況

泊城公園の崖崩れの状況

泊城公園の崖崩れの状況

問 増税に対して村政の姿勢を問う

増税に対して村政の姿勢を問う

増税に対して村政の姿勢を問う

増税に対して村政の姿勢を問う

増税に対して村政の姿勢を問う

増税に対して村政の姿勢を問う

問 今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

問 今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。

今年度の読谷まつりに間に合うよう修繕を行ってまいります。



子ども医療費、中学卒業まで通院無料化実現を！

問 9月議会で医療費無料化の重要性、必要性は認められているが、その後の進捗状況は

答 年齢の拡充については財源の確保が大きな課題となっている。

問 未来を担う子ども達の医療費無料化に向けて今後の方針を問う。

答 県の動向を見ながら読谷村も実施していきたい。

辺野古新基地阻止に向けて、村の取り組みを目に見える形で！

問 週に一度の辺野古バスを再び復活させることはできないか

答 抗議行動スタート時に比べ、参加人数が減少したこともあり、村民会議の代表者会議を行った結果、辺野古バスは休止することが

決まった。今後の活動は、各種団体独自での取り組みを行うっていく方針。

問 村政としても各種団体に丸投げするのではなく、一緒になって行動してほしい。

答 こういった問いには画一的に行うのではなく、音楽や現場で頑張ったり、選挙など、県民の意思を粘り強く表していくことが重要。表からも裏からも行動する決意。理解してほしい。

トリイ通信施設で見えられた歴史的文化的財を、読谷村の聖地として現地保存を！

問 可能な限り、防衛局と調整し、建物をずらしたり、計画の変更も含め、現地に残せるような働きかけをしていきたい。

答 可能な限り、防衛局と調整し、建物をずらしたり、計画の変更も含め、現地に残せるような働きかけをしていきたい。



お徳雄 那覇市 雄那

外出支援サービス事業

問 利用対象者の範囲を広げる考えはないか

答 家族等の支援が困難な60歳未満の要介護認定者及び精神・知的障がい者が検討の対象者となっている。

問 成果と課題を問う

答 医療機関への移動手段確保や利用者及び家族等の精神的・経済的負担の軽減、課題は新規利用者・制度の周知及び推進がある。

問 周知の取り組みは

答 読谷村暮らしの便利帳の中に福祉サービス一覧を掲載して全世帯に今月配布。

学校地域支援事業

問 事業の実施内容を問う

答 23年度より実施、学校からの支援依頼に応じてボランティアの派遣を行う。

問 教育活動の支援は

答 主に丸付け、新一年生給食配膳補助、平和学習講師、高校受験の模擬面接官、ペンキ塗り等の支援。

問 登録ボランティア数は

答 110名。読谷中学校区60名。古堅中学校区50名。

問 有償ボランティアでの対応の考えは

答 地域住民がボランティアとして教育活動を支援取り組むもので無償ボランティアで対応していく考え。

問 学校ボランティアとの調整を行う2名のコーディネーターは有償か、手当ては

答 有償で1時間1200円。

問 教育活動の支援で有償ボランティアで行っている市町村はないか

答 中頭地区で中城村と北中城村が有償である。

問 役場退職者の支援ボランティアの状況は

答 役場OBそれぞれの得意分野で関わっている。

公園等の屋外トイレ

問 和式から洋式トイレに改善していく計画は

答 地域からの声を参考に今後検討する。

問 洋式トイレの普及率は

答 和式と洋式のトイレの割合は洋式が約90%。

問 地域から改善してほしいとの要望は

答 29年度泊グスク公園の和式の一部を洋式に要望があり改修工事を行った。

問 日中でも暗いとの苦情を調査したことがあるか

答 25年度改築した公園トイレで住民より暗いとの意見が有り日中でも点灯できるように対応しほとんどの公園改修を入れりリニューアルした。

学校周辺の安全確保

問 学校周辺のカラー舗装の状況と次年度計画は

答 今年度は渡慶次小学校から瀬名波駐在所間の500m区間カラー舗装、次年度以降は意見聴取を実施検討する。

問 500m区間のカラー舗装は両側と理解していいか

答 学校と自治会との調整で片側予定。

問 体育館から渡慶次3番地の区間も実施できないか

答 次年度以降、幅広く意見を聴取し選定場所を考える。



カラー舗装実施予定 (瀬名波区)

Q 村政を問う!! 一般質問



まつだ まさくに
松田 昌邦

問 いじめの重大事態はあったのか

答 いじめの重大事態については平成29年度についてはない。

中小高の不登校、いじめの本村の実情を問う

問 2017年文科省行動調査における本村の実情は

答 平成29年度の不登校児童生徒数は小学校14名、中学校69名で、合計83名です。また、いじめの認知件数は小学校49件、中学校16件、合計65件です。

問 今後の対策等は

答 不登校対策については各学校とも欠席児童生徒マニユアル等に基づいて対応している。また、青少年センター相談員やスクールカウンセラーによる相談等関係機関と連携して取り組んでいる。

いじめ対策については村及び各学校策定のいじめ対策基本方針に基づき取り組んでいる

中高生のネット依存問題を問う

問 厚労省によると全国で93万人のネット依存と診断されているが本村の実態と対策は

答 高等学校は所管外です。中学校に絞って調査したところ7名がネット依存の疑いがあるとの報告を受けており、その対策についてはスクールカウンセラーによる相談や保護者に対する制限時間を設定してもらうよう働きかけ、状況によっては医療機関を受診してもらう。

問 中学校への専門科等の配置は考えているか

答 各学校にスクールカウンセラーを活用していく。

本村の職員採用を問う

問 職員採用試験における一般事務職と技術職の上限年齢の違いは

答 一般事務職30歳、技術職45歳である。技術職については平成27年度までは35歳であったが応募が激減し人材の確保が難しくなったことから引き上げた

問 上限を引き上げるべき現行のまま試験を実施し、今後の社会情勢の変化があれば検討を行っていく。

問 平成30年度における受験者数は

答 申し込人数が129名で受験者数は113名



なかま あさお
中村 真 朝雄

問 行政の課題、方向性は

答 犬に関する苦情は、直接飼主に指導し、近隣にチラシ配布する等対応している。さらに動物愛護団体とも協力し適正飼養の啓発を徹底していく。

読谷村に暮らす犬は幸せか

問 沖縄県動物愛護管理推進計画、本村の達成状況は

答 市町村の役割として、不適正飼養者への指導、広報普及活動を行っている。保護収容対策も読谷村地域防災計画に明記。

わんぱく広場のあり方について

問 事業の拡張性は

問 本村の犬の登録件数と状況は

答 平成31年度伊良皆わんぱく広場は週2回となる予定で、今後も増える見込み。自治会や地域の理解と協力を得る努力をする。

問 飼い主の法的義務、役割は

問 見守り隊員不足の指摘は

答 狂犬病予防法に基づいた市町村窓口での登録及び毎年一回の狂犬病予防注射の接種、放し飼いの禁止など、

答 従来の募方法に加え、4小学校区の入学式にて広報活動を行うなど、今後も増員に努力する。

ネット依存に関する8項目の質問

項目	チェック	ネット依存の主な症状
・ネットに夢中になっていると感じる		・日常生活に支障が出る
・予定よりも長時間使う		・インターネットがやめられない
・制限しようとしてうまくいかなかったことがある		・学校や職場を遅刻、欠席
・トラブルやいやな気持ちから逃げるために使用する		・成績低下
・使用しないと落ち着かない		・昼夜逆転生活
・熱中を隠すため家族にうそをついたことがある		・食事を取らない
・使用時間がだんだん長くなる		・暴力、引きこもり
・ネットのせいで人間関係などを台無しにした、しそうになった		・うつ病などの合併症
		・脳の障害

[5項目以上該当するとネット依存が疑われる]

問 手当ての増額を求める声があるが

答 県地域学校協同活動推進事業に基づき経費などを積算するも、今の額が補助対象上限額。超える分は市町村の負担となることから現在は増額を考えていないが、財源の確保や他市町村の状況を調査したい。

問 今後の事業見通し

答 自治会長や地域の理解と協力を得ながら、新たな公民館での開催、週複数回の開催ができるように努力する。

厚労省は学童保育の職員基準を緩和する方針

問 内容の説明を求め

答 厚労省は、放課後児童クラブの職員基準を常時2名以上の配置を拘束力のない参考基準とし、自治体の判断で配置数を決定できるようにする方針。12月に開

催決定し来年の通常国会に関連法案を提出すること。

問 本村の学童保育への波及は

答 制度設計が明確化した時点で検討する。

その他

「制度スタート迫る、幼児教育無償化について」、その概要、地方自治体の費用負担、認可外施設、保育の質の確保等を問いました。



村内で展開されている「わんぱく広場」事業



やまうち まさのり
山内 政徳

意見交換をしていきたいと考える。村としても福祉連携して組み立てないといけないと感じているところ。

読谷村の待機児童について

問 状況はどうなっているか

答 待機児童数は47人1才児40人、2才児7人。

問 小規模保育所についてはどうなっているか

答 認可外に関しては一事業所、オープンに向け改修工事を行っている。認可保育所に関しても、同様に呼びかけたが応募法人がなかった。

住宅セーフティーネット法についての検討はどうなっているか

答 村内の不動産業者とも

小学校の建てかえについて

問 どの小学校から建てかえるのか

答 まず古堅南小学校から作業を開始。

問 予算はいくらかかるのか

答 18億〜20億(二校当り)5年おきに学校を建てますと4校で20年かかる。そこを4年サイクル、3年サイクルでできないか検討を進めている。

台風被害について

問 被害額はいくらか

答 2千603万円となっている。

問 各行政区の負担もあるのか

答 自治会管理の防犯灯については19自治会からの報告で150件。

問 その費用の負担はどうなるか。

答 管理者である自治会のほうで負担することになる。

下水道整備について根本的な対策はあるか

答 現段階では具体的検討策が見当たらないと理解している。自然環境の保全及び生活環境の改善を図るため下水道の整備をしっかりと継続していきたい。

行財政改革はどう考えるか

答 学校の建設にも80億かかる。道路の改修も議場でいろいろ注文がある。取捨選択しれないと我々生き延びていけないのかなというのを考えている。やっぱり歳入側を見た上で進めていくこと。これが一番重要だと認識している。



台風により倒壊した高倉(座喜味城跡)

Q 村政を問う!! 一般質問



う え ち り え こ
上地利枝子

災害時における避難所生活で想定される課題への対応

問 本村の避難所は何カ所、広域避難所一カ所、一時避難所7カ所、収容避難所26カ所となっている。

答 想定される各避難所の人数と対応してくれるボランティアの数、看護師・保健師・介護職等専門の方々との連携は

品目	保管内容	点検日	点検結果
懐中電灯			
ラジオ			
乾電池			
飲料水			
非常食			
貴重品			
救急セット			
タオル			
衣類・下着類			
ローソク・マッチ			
ロープ			

◆必需品チェックリスト◆

備えてますか!?

問 適応教室の設置についてはどのように考えますか

答 今後設置の可能性について

問 適応教室の設置についてはどのように考えますか

答 今後設置の可能性について

問 適応教室の設置についてはどのように考えますか

答 今後設置の可能性について

問 適応教室の設置についてはどのように考えますか

答 今後設置の可能性について

想定、ボランティアの数は災害時居村内のボランティアニーズを把握し、社会福祉協議会、日本赤十字社、地域のボランティア団体等と連携をとり、ボランティアセンターを開設し、高齢者介護や医療救護等、ボランティアの技術等が効果的に生かされよう配慮した上で、本村の各専門職と連携をとりながら必要に応じてボランティア活動が円滑に実施されるよう支援を行っていきたく思います。

240食、飲料水は500ミリペットボトル268本ですが、今後計画的に増やしていきたいと考えています。また、企業等から支援を受けられるよう災害応援協定を結んでいる。

いては、他市町村の設置状況や今後の青少年センターのあり方も含めて議論を重ねていきたいと考えています。

青少年センター内に適応教室の設置を!

保健センター設置と子育て世代包括センターとの関係性は

問 本村小中学校での不登校生徒の人数

答 平成28年度65名、29年度83名。

問 保健センターを建物と捉えた場合、母子保健事業を通して子育て世代包括支援センターを機能として位置づけていくことは考えられる。

問 避難所での食料品、飲料水、生活用品等の確保は

答 生活用品については、毛布や新寝具類、簡易トイレやおむつの衛生用品。食料の備蓄については、現在

問 青少年センターでの支援対策と課題は

答 不登校の件で困っているのは、心因性と非行系のお子さんと同じ場所に対応しているのが現状。やはり場所が少ないということや文化センターの一角を一時的に借りて対応しています。今後、場所については議論を深め対策を考えていきたい。

問 議会活動活性化のために早急に女性村民議会の実施を実現しては

答 議会活性化のためには女性の皆さんが「男性とは違う視点で、はつきりとした意見を伝えることが必要」との意見があります。読谷村女性会議へ提案しその中で協議を進めていく。

問 除草剤の扱いについてはどのようなか

答 仕様書に明記されていないけれども、お互い受託者も巧みになっている。

問 今後本村として、どう対処していくのか

答 母子保健と子育て支援の側面から、切れ目ない支援の仕組みを継続しながら検討していきたい。



か み や
神谷 栄嘉

公園及び道路の管理は

問 契約の委託（指定管理を含む）総数を伺う

答 都市公園の管理委託総数は25件、道路管理は4件で指定管理はない。

している子育て世代包括支援センターの説明を求める

答 子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）は、児童虐待の発生予防として、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供する場として児童福祉法・母子保険法に位置づけられ、市町村は設置に努めるものとされている。国の目標は平成32年度末までに全国展開を目指すとしており、県においても設置を推進する動きになっている。センターという名称は、建物ではなく、妊産婦及び乳幼児の健康・経済など社会的状況を包括的に把握し、相談・助言や訪問支援を行うほか、関係機関との連携調整によった支援が受けられる「システム」を示している。



どうなる読谷まつりの進貢船

問 まつり最終日に進貢船が、従来の地面を走らせ帰港する風景の演出ではなく、最初から舞台袖の定位置にあったのはなぜか

答 進貢船は、従来会場内を走行し、泰期が帰港する風景の演出を行っている。今年度については、進貢船の点検を行った際に、ブレキオイルなどにオイル漏れが判明し、運転に支障をきたすため今回の演出となった。

演出となるのか

答 現在、進貢船の修理が可能か確認を行っているところであり、修理が可能であれば来年は従来の進貢船が会場内を走行し泰期が帰港する演出を考えている。

問 修理は可能なのか

答 トラックに木造の船体を取り付けてあるが、オイル漏れの修理後、解体された船体の組み立てが難しいとのこと。現在の進貢船は平成4年から2台目であり、当時の技術者が既に故人となられ、修理で収まるものなのか、それとも3台目の新調もあるのかも含めて調査させていただきたい。



まつりでの勇壮な進貢船

合併号

第11回 村民との意見交換会及び議会報告会

総務常任委員会

自主防災組織を持つ5自治体及びこれから立上げる6自治体

1、自主防災組織を設置するためには防災意識の啓発が重要であり、DVDの活用や婦人、若者などに消火の方法をはじめ地震津波の被害の状況の講座が必要ではないか

(回答) 現在でも啓発活動は随時行っているが、「防災意識啓発」の一環として講座等の開催も含め対処したい。

2、食糧備蓄については、標準が18,000食(人口の20分の1×3食×3日間)であるが、現状は2,500食しかない。それぞれの自主防災組織における食糧備蓄も検討する必要があるか。(防災倉庫等)

(回答) 食糧備蓄の有り方については現在修正中の「読谷村地域防災計画」の中で併行して検討します。

3、自治会への未加入者もこの機会に防災組織の設置を通して各自治会組織の強化につながるのではないか。

(回答) 防災を通して地域が協力することは未加入者の自治会への理解も深まると考えます。

4、要援護者(弱者対策)については、福祉課、社協、地域の見守り隊と連携を日頃から行う必要があると考えるが

(回答) 各地域の見守り隊(各地域支えあい活動委員会)の定期的な会議(月1回程度)に福祉課、社会福祉協議会も参加し課題などの共有も行っています。また、要援護者の名簿(同意済)の提供も自治会に行っています。

5、地震及び津波や台風により停電が生じて、防災活動に支障をきたすので、自家発電機の設置も将来は考えないといけないのではないか。

(回答) 避難所への発電機等の設置の有り方については現在修正中の「読谷村地域防災計画」と併行して検討します。

6、自主防災活動は区民運動会でのバケツリレーを組み入れたり、他のレク活動とも連結して多くの区民の参加しやすい工夫も必要ではないか。

合 併 号

(回答) 自主防災会の訓練は多くの方々に参加してもらえよう毎年工夫しながら実施しており、今後も可能な限り支援します。

7、その他 台風等により破損した自治会管理の防犯灯の補修などについては行政の方で対応できないか。

(回答) これまで通り自治会で対応をお願いしたい。

8、防災資機材の充実のための予算が少ないので増額ができないか。

(回答) 読谷村自主防災会育成等補助金及びコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を活用しながら、一つでも多くの組織の立ち上げに取り組んでいきます。

文教厚生常任委員会

わんぱく広場を運営する7自治会との意見交換

1. 見守り隊への最低賃金に見合った手当を求めることについて

(回答) 財源の確保や他市町村の状況を調査中です。

2. 見守り隊不足のため確保に努めることについて

(回答) これからも、引き続き努力をしていきます。

3. 大添自治会の安全面が不十分である。

(回答) 大添わんぱく広場の分割及び見守り隊の増員を検討したいと思います。

4. 環境整備に予算をつけて

(回答) 現在の自治公民館施設を利用してのわんぱく広場を開催しており、新たな環境整備については、内容等の相談を受け検討したいと考えております。

5. 状況把握及び相談にのってほしい

(回答) これまで通り、状況把握及び相談に対応していきます。

6. 子ども達の状況に合わせた保険加入について

(回答) 詳細について内容確認をさせていただきます、今後検討していきたい。

7. ボランティアに中高生の関わり

(回答) 平日については、学校帰りということ、厳しいとは思いますが、夏休みなどの際には関わっていただけ



公民館を活用したわんぱく広場



長浜自治会の防災訓練の様子

合併号

るのであれば、異年齢交流などからも、各わんぱく広場でも調整してみたいと思います。

建設経済常任委員会 商工会理事の皆さん

※読谷まつりについて

1. まつりに欠かせない飲食のテナントが減少している。その理由として人材確保が厳しい状況がある。今後、まつりのテナントの在り方についてどう対処していくか、又、協力業者も高齢化、若手不足で深刻である。

(回答) 商工会と意見交換し課題解決していきたい。

2. 台風、雨天等で祭りを中止せず、予備日を設けられないか。

(回答) 提言として受け止め、祭り実行委員会で検討したい。

3. 野外スタンドや進貢船等の老朽で今後の対策は

(回答) 提言として受け止め、祭り実行委員会で検討したい。

4. 親子で遊べる広場の確保はできないか。

(回答) 提言として受け止め、祭り実行委員会で検討したい。

※ふるさと納税について

1. 納税額を増やすために担当係を確保し、指導的に読谷村のアピール及び返礼品の開発を進めていくべきでは

(回答) 現在の体制を継続していきたいと考えています。

2. 寄付者のニーズは物から体験型へと兆候がみられる。村内の素材は豊富である。観光・体験・滞在型の商品が増えてくると予想されるので早期に商品開発ができないか。

(回答) 地域振興協議会の中で検討しています。

3. 特別職・行政職員・県内外に出向くときに名刺等でふるさと納税をアピールできないか。

(回答) 今後、検討していきます。(一部の職員は実施済み)

4. 村の5割収入を4割にし、1割で情報発信の費用にできないか。

(回答) 現在でも、委託費で情報発信しており、増額は考えていない。情報発信の充実としては、ポータルサイトを新規に追加することは今後、予定していきます。



読谷まつりの風景

政策提起

◎新たな自主防災組織設立実現に向け、積極的啓蒙と既存自主防災組織への資機材の充実支援をすること。

◎わんぱく広場運営拡充のため、人材確保と環境整備への支援を推進すること。

◎ふるさと納税増収のため、ふるさと納税業務専従職員を配置すること。



表紙説明
「ソーラの森公園」
子ども達の元気な声が響き渡っているのは、波平の高台にあるソーラの森公園。遊具や運動器具が充実している為、この日も小さな子どもからお年寄りまでいこいの場として賑わっていました。今では村内外からもたくさんの方が利用しています。

りっかりか読谷村議会

12月定例会での傍聴者は、延べ73名でした。

平成31年3月定例議会は2月28日(木)から3月25日(月)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

(お問い合わせ)

議会事務局 TEL 098-982-9225